

教 区 報

山 口

発行／「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会
編集／広報部

No. 213

2019(平成31)年
4月

CONTENTS

- 2018(平成30)年度定期教区会報告
執務方針演説
- 2019年度教区一般会計予算
- 各種行事報告/案内
- 別院・教区行事予定



離郷門信徒のつどい 於：築地本願寺(3月2日)

定期教区会開催

去る3月13日(水)に、別院会議室において、定期教区会(児玉正悟議長)を開催し、提出した財務議決議案・法規議案は、原案通り可決された。議案は次の通り。

財務議決議案

2019年度山口教区一般会計予算、特別会計予算(寺院災害見舞金会計・伝道車購入積立金会計・平衡資金会計・子ども若者ご縁づくり推進費会計)

2018(平成30)年度山口教区一般会計予算補正、特別会計予算補正(寺院災害見舞金会計・子ども若者ご縁づくり推進費会計)

法規議案

山口教区護持口数調整委員会委員の任期の調整に関する区令

2018(平成30)年度定期教区会 執務方針演説

教務所長 中村 祐順

ようやく春めいた過ごしやすき候となつてまいりましたが、教区会議員の皆さまには公私ご多用のなかを万障お繰り合わせのうえ、ご参集いただき、明年度の山口教区の重要案件についてご審議いただきますことと衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、宗門においては、本年の御正忌報恩講の初日に、ご門主さまより「親鸞聖人御誕生850年立教開宗800年についてのご消息」のご発布を賜り、来る2023年に2つの慶讃法要がご修行されることをお知らせいただいた中で、これらのご法要の意義、そしてご法要をお迎えするにあたり、私たちのあるべき姿をお示しくございました。

さらには、先の「全国門徒総追悼法要(秋の法要)」において、ご親教「念仏者の生き方」を、肝要4ヶ条にまとめた「私たちのちかい」を新たにお示しくございました。

この「ちかい」は、若い人の宗教離れが盛んに言われている今日、これまで仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみのなかった方々にも、唱

和しながら親しんでいただきたいとお示しくくださったお言葉であります。そして、ご親教「念仏者の生き方」のお言葉にある生き方を、若い方々に限らず、私たち全員で実践してほしいという願いも込められているものと味わわせていただくことでもあります。

『伝灯奉告法要御満座のご消息』において、ご門主さまは、「凡夫の身であることを忘れた傲慢(ごうまん)な思いが誤っているのは当然ですが、凡夫だから何もできないという無気力な姿勢も、親鸞聖人のみ教えとは異なるものです。」、また、前門さまのご消息を引用され「凡夫の身でなすことは不十分不完全であると自覚しつつ、それでも『世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ』と、精一杯努力させていただきましょう」とお示しくございました。

これらお示しくくださったお言葉のお心を体し、今年度から次年度の2ヶ年度にかけて「貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～」子どもたちを育むために」を宗門

全体で、また、「部落差別をはじめとする人権問題への学びを深める―山口教区内差別はがき投書事件を通じて―」を山口教区全体で取り組む実践目標といたしました。これら目標の継続した取り組みを推進させていただくことをはじめ、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)

として、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現のための宗務を進めていく決意であります。

さて、このたび上程しました財務議決議案8件、法規議案1件の概要について申し述べます。

まず、2017(平成29)年度に発生いたしました「差別はがき投書事件」を契機に、山口教区全体で部落差別をはじめとする人権問題への学びを深めるため、人権啓発推進僧侶研修会に全組が参画する環境づくりとして、同和教育振興会等に出講を依頼し、今年度も継続してプロックでの開催をいたします。

また、将来の人権問題に関する学習への対応を見据え「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会では、

派遣講師選定並びに養成にかかる企画のための専門部会を設置し、教区同朋講師の人材育成を進めてまいります。

次に、過疎対策並びに寺院振興のための寺院実態調査(アンケート)につきまして、概要を中間報告として教区内全寺院に昨年度配布いたしました。このデータを基に、山口教区が直面する寺院を取り巻く過疎高齢化、またいわゆる「お寺離れ」に関する組毎のデータ集計をはじめとする詳細な分析を行います。

次に、明年度が4年に一度の護持口数の見直し時期であることを見据え、山口教区護持口数調整委員会では、護持口数の変更を伴う組間調整の必要性に関する議論をはじめ、調整を実施する場合の具体的な算出方法等、活発な協議が進められております。護持口数の調整実施につきましては、まず教区会に護持口数調整委員会より護持口数の変更を伴う答申が提出されたのち、この教区会上程しご承認をいただき決定となります。これを受けて各組に通知し組

内調整のお願いの通知をさせていただくこととなります。その調整のための補助として組事務費を支給いたします。

次に、今年度、東京の築地本願寺において教区主催の離郷門信徒のつどいを実施いたしました。予定を上回る参加者があり、首都圏にお住いの山口教区出身の門信徒の皆さまの関心の高さを感じたことでありました。明年度につきましても、都市部にお住いの山口教区出身門信徒の皆さまとの繋がりの場を継続するため、離郷門信徒のつどいを実施いたします。

次に、本願寺山口別院職員の人件費につきまして、一般職においては総支給額の9割を教区より拠出、別院会計へ回付の後、別院より支給しております。その給与の算出基準につきまして、現在、職員俸給等、別院独自の給与基準を用いておりますが、職員人事異動等への公正な対応を目的として、宗務所員給与規程施行条例の定めによる給与基準を採用し、給与の算出を行います。また、

扶養手当をはじめとする諸手当につきましても、実情に即した支給額に見直し改定いたします。

最後に、法規議案における「山口教区護持口数調整委員会委員の任期の調整に関する区令」案につきまして、同委員会委員任期が2会計年度であり、今年度末で任期満了となるところでありますが、教区会議員、組長等任期との整合性、また明年度の護持口数調整に関する継続した審議を可能とするため、現在の委員に限り3ヶ年度とすることについて、ご審議を賜るものであります。

以上、甚だ簡単ではございますが、明年度の宗務についてご説明申し上げます。

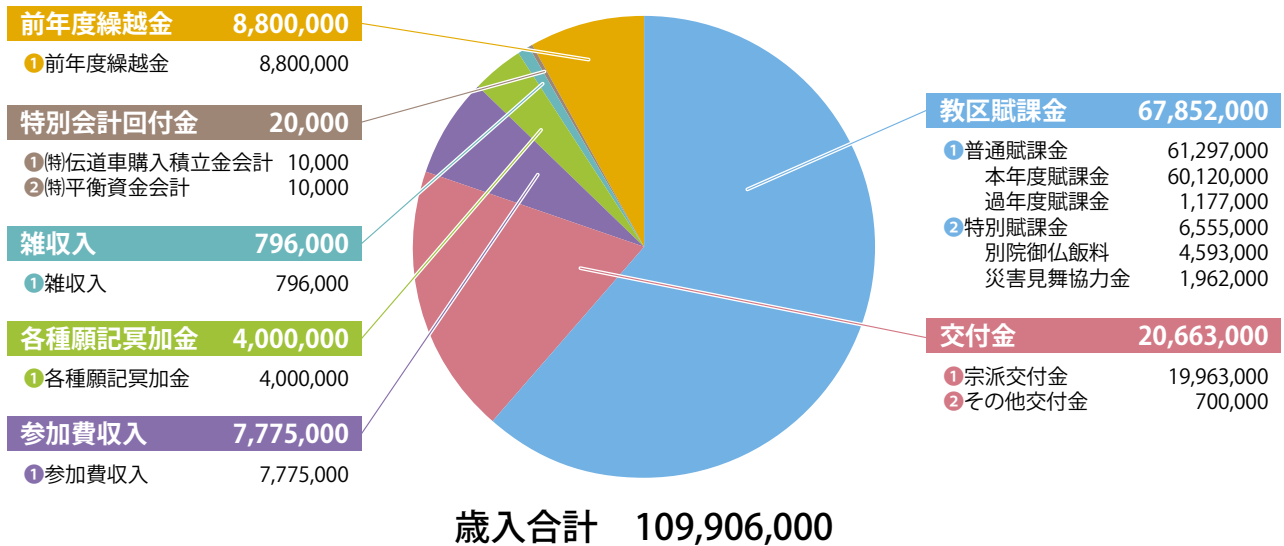
議員の皆さまには意のあるところをご賢察いただき、このたびの定期教区会に提出いたしました財務議決議案、法規議案の全議案をご賛同いただきますようお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございます。

以上

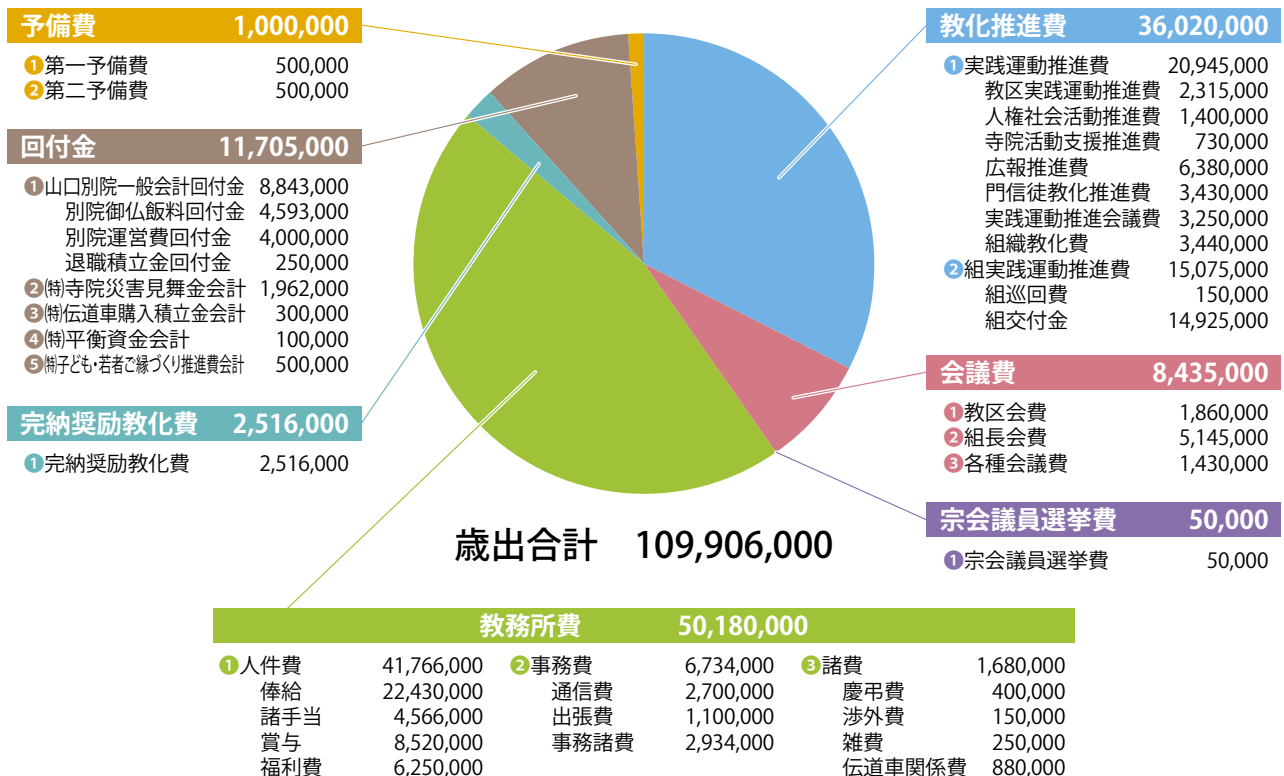
2019年度 山口教区一般会計歳計予算

自2019年4月1日 至2020年3月31日

歳入の部 (単位:円)



歳出の部 (単位:円)



離郷門信徒のつどい

3月2日(土)

首都圏に移り住んでいる門信徒や寺族、核家族で過ごしている次世代への伝道に取り組むため、築地本願寺において「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)山口教区委員会主催で「離郷門信徒のつどい」が開催された。山口教区にゆかりのある人々や山口からの参加者・スタッフを含め、子どもから祖父母世代まで67人の参加があった。

讃仏偈のおつとめの後、「山口県の念仏者」と題し、地元の言葉を変えて荻隆宣「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)山口教区委員会副委員長(大津東組浄土寺住職)による法話を聴聞した。法話の中では「郷」という漢字の意味についてとり上げられ、「何か食べるもの、ごちそうを囲み、人が集まる姿を表しているそうです。本日がまさにそうです。」と説かれた。また、ご自坊のご門徒にまつわる話では、会場から念仏の声があがった。

山口教区として「離郷門信徒のつどい」は今回が初めて。法



講師：荻隆宣氏

話の後には昼食を囲んでの茶話会、ビンゴゲーム、記念撮影が行われ、故郷との絆を新たにしました。

嫁ぎ先の義父が山口県出身の参加者は「義母や主人の墓があるので山口のお寺とのご縁は深いです。ただこちらにいるとなかなか行けないので、こういう集いがあるといい。築地本願寺には毎月月命日におまいりしています」と話されたり、「東京に長いこと住んでいます、お寺さんのこともわからないし、葬儀のことやお骨のこともわからない。相談できる場があればたすかる」と教区の試みに期待する声もあがった。

また、山口から駆け付けた方は「まず、築地本願寺行ったよ

という土産話ができました。違ふふささといふことなのでは。」という環境でもご本尊さまの前で聴聞をさせていただくのはありがたい。「これがご縁で、なかなかなくて、今日ここに集ってきたのかさううことが難しい親族が集まることのできた」など、喜びの感想があがった。

ご講師の法話を受け、「今日あつても響き流れるようにというは築地本願寺において、みんなのが、この『郷門信徒のつどい』で食卓を囲み、人と人が向き合いました。ここは東京ですが、あ」と、継続する大切さを共有しながら盛大につどいは終了した。

縁をいただいておりますということ。ナンマンダブツのご縁が、どこであつても響き流れるようにという



食後の言葉の唱和

連研履修者研修会

一月二十六日(土)

「門徒推進員中央教修」への参加奨励を行うとともに、中央教修の願いを伝える一助とするため、ご講師に連研中央講師 熊谷正信氏(岩国組西福寺住職)をお招きし、「話し合い法座再発見!」をテーマに連研履修者研修会が開催された。

最初に中央教修について開催趣旨を踏まえ、中央教修にスタッフとして携わってこられてきた際の様々な受講生とのエピソードや近況など、講師ご自身の体験とよるこびをお話しされた。長いと思うか、あつという間と思うか、教修は3泊4日であるが、その内容は色濃く、修了後何年経ても楽しく同期会が行われているなど紹介いただいた。

今回の研修は連研履修中の方も対象だったため、より充実するための連研のあり方、「話し合い法座」について、その変遷や現在の取り組み方などをお話しいただいた。

この頃は連研の教材として『連研ノートE』が多く活用されている。連研一回一回、その時のテーマに基づい



講師：熊谷正信氏

て話し合い法座を展開していくのがその進め方となっている。テーマについての模範解答をグループで導き出すことが連研の目的と捉えられがちだが、テーマに縛られ過ぎず、それをきつかけとして自身が思っていることや抱えていることを述べるのが大切であること、また聞く側は聞く側として、一生懸命述べられた姿や思いを、大事に共有していくことが大切なポイントなのではないかとお話しいただいた。講話の後は「念仏者としてこれからどのような生活をしていきたいと思っっていますか」と提起があり、各組から集まった参加者の中で班別話し合いを行った。

連研を通して、何が変わったのだろうか? 中央教修に参加すると何か変わるのだろうか? 以前の私と今の私、そしてこれからの私について見つめることのできた研修会だった。

若婦人のつどい

二月十七日(日)

今般、若婦人会員の育成を目的に、「若婦人のつどい」が開催され、会員203名の参加があった。

この度はご講師に外松太恵子氏をお迎えし、自身のご経験からLGBTや虐待などの社会問題についてご講話をいただいた。外松氏は「カウンセリングとはご相談された方の問題を解決することではなく、その方に寄り添うことです」と話され、カウンセリングをする上で「待つことができる」「思いやりをもって接することができる」「相手の話を聞きながら自分の心を見つめられる」「人を好きになつて他人を受け入れられる」この四つが大事なことで、それはまた人生にも通じており、母として、妻として、人としてこれらを大事にしてほしいと語られた。



講師：外松太恵子氏



託児の子どもたち

当日は親婦人会員の方々にもお手伝いをいただき、15人の子どもたちをお預かりした。子どもたちは敷いてあったマットを立体的に組み上げるなど、自由な発想で遊び、子どもたち同士で交流を深めていた。

山口教区同朋運動研修会

二月二十二日(金)

今年度の「山口教区同朋運動研修会」が本願寺山口別院にて開催され、組長・副組長、教区実践運動委員のほか、教区仏婦関係者等、約80名が参加した。

研修にあたり、お二人のご講師にご出講をいただき、前半は大津西組龍雲寺 住職 長岡裕之氏より、昨年度発生した差別はがき投書事件を契機に、部落差別をはじめとする人権問題に関する学びを教区をあげて強力に推進する取り組みの一つとして、『念仏者の生き方』に学ぶ差別問題』の講題でお話をいただいた。

被差別部落の方々の多くが浄土真宗のみ教えを信仰しておられた中で、親身に布教・伝道をされた住職・



講師：長岡裕之氏



講師：金山玄樹氏

僧侶がおられた。その中であつて、私たちの教団による差別的な制度が存在したことや、同朋運動に関する教団による人権への取り組み等を説明され、継続した人権への学びが必要であることをお話しされた。

後半は九州龍谷短期大学非常勤講師 金山玄樹氏より、「真宗念仏者の対人的態度」と題し、真宗カウンセリングという分野から人権についてお話をいただき、「御伝鈔」や「涅槃経」にあるできごとを例に相手の内面について分析し、そこにかげられたお言葉の意味を考えると、これまでとは異なる角度での人権に関する学びの機会であった。

ビバーラ山口 いのちをみつめる研修会

二月二十一日(木)

ビバーラ山口の主催する「いのちをみつめる研修会」が本願寺山口別院にて開催され、98名が参加した。このたびは龍谷大学教授 鍋島直樹氏(兵庫教区 真覚寺)に「地獄と極楽ビバーラ活動の原点 願われないのちを共に生きる」と題し、講演をいただいた。



鍋島氏は「人が亡くなったらどこへいくのか。地獄と極楽の教えは、自分の生き方をふりかえり、真の幸せとは何かを教えてください。羅針盤である」とお話しされた。特に印象に残ったお話は、「地獄にも極楽にも同じ三尺三寸の箸がある。地獄の者は自分だけ食べようと奪い合い食べられないが、極楽の者は分け合いお互いが食べさせてあげている。同じ箸でも相手を思う気持ちだけで違うのです。」とビバーラ活動を行なっていく中で、相手を思う気持ちを持つこと、ありがたさに気づかされ、実りある研修会であった。



講師：鍋島直樹氏

第36回

門徒責任役員・総代一泊懇談研修会

1月28日(月)～29日(火)



「こんな総代でありたい！」

— 私たちは今のままでいいのか

山口教区門徒総代会会長 久保 實

今年の「門徒責任役員・総代一泊懇談研修会」で、ここ数年の経過を踏まえ、次のような問題提起をさせていただいた。

「今、各寺、各組の総代会は、総代の決め方も活動内容も運営の仕方もみんな違っていている。それは、それぞれの長い歴史の中で、先人の努力によって今の形にできあがってきたのであり、それ自体大切にすべきである。」

しかし、急速にご門徒や地域の状況が変わりつつある今、ますます重要になった寺の役割と、一人でも多くの方にお念仏をよるこんでいただくための総代のあり方を考えるとき、もつとできることはないか、しなければならぬことはないかという立場で、今の状況を見直していくことは大切なことだ。

それを、住職さんとの相互信頼、総代としてお育てをいただくわたし、これからへの期待などの観点から、総代自身変わらなければいけないことはないかということをおたがい考え合っていきたい」

ご講師 内田正祥氏の「願わくは此の功德を以って—門信徒と共に」という、体験に基づく基調講話も

あって、そのあとの10人一組20組の協議の時間は、活発に意見が交わされた。その報告の要点をまとめ、翌日の全体協議会で確認したのは、次のようなことである。へ



講師：内田 正祥 氏

こんな総代でありたい!

—そのために力をつくす。がんばろう。

① 住職さんに「ご門徒に育てられた」と言われるような総代。

② 寺に参る総代

日常の姿を見せていく。

一緒に参ろうと呼びかける。

③ まず自分の家族におみのりを

きちんと伝える総代。

④ ご縁をつくる、しかけをつくる総代。

⑤ お金を出す(出せる)総代という決め方ではなく、門法のリーダーという立場に立つてもらおう総代。

これからも、私たち総代ひとり一人が、総代としてのあり方、寺のあり方について思いを深めていかなければと改めて思っている。



山口教区寺族青年会「若朋会」

第三回例会(移動例会)

一月三十日(水)～三十一日(木)

本年度の移動例会は、山口別院報恩講の際に若朋会員で募った平成30年7月豪雨災害義援金をお届けするため、備後教区へ向かった。

初日は、しまなみ街道を通り、生口島の耕三寺博物館へ立ち寄った。この寺院は、初代住職が母を偲び建立したものであり、直門徒を持たない特殊な形態のため、博物館という形で運営されていた。境内には異国風のモニュメントやカフェなどもあり、子連れでの参拝も多いとのことだった。その後、備後教区教務所へ義援金を伝達し、菅原順昭教務所長より災害が発生した際の心構え等をご教授いただいた。



耕三寺博物館 未来心の丘

2日目は午前中に光照寺と勝願寺、午後には真行寺へ参拝した。光照寺は、備後地域における浄土真宗の教化活動の拠点となった寺院と言われており、明治までは一般寺院と本願寺を結ぶ中本山として備後教区を統括していた。勝願寺では、出身の勧学 足利義山・瑞義両和上、京都女子大学の礎を作った甲斐和里子氏のお話をお聞きした。真行寺では是山恵覚和上についてのお話をいただき、残された文献等には山口教区所縁の島地黙雷氏や赤松連城氏、大洲鉄然氏らの書が残されていた。先達の想いに触れ、今後の会員各々の教化活動に確かな彩りを加える、実りある研修会となった。



真行寺 是山住職と記念撮影



光照寺 本堂

福祉車両贈呈式

二月十九日(火)

平成5年より毎年、皆様にご協力をいただいた福祉募金、仏婦連盟ダーナ献金を基に山口県内の社会福祉協議会へ福祉車両、軽自動車の贈呈を行なっている。今年も長門市社会福祉協議会、下関市社会福祉協議会豊浦支所へ贈呈し、延べ55台の車両を各社会福祉協議会にて活躍することとなった。

贈呈式では、山口県社会福祉協議会 原昌克会長からお礼の言葉とともに、「山口教区の皆様方におかれましては、どうか、今後ともこの取り組みを続けていただきますようお願いする次第であります」とのお言葉をいただき、この取り組みへの重要性を再確認させていただいた。

福祉募金は車両贈呈の他、福祉施設へのカレンダーの贈呈や教区内布教使の方々にご依頼をして

る福祉施設へのご出講に役立てられている。

またダーナ献金は、宗派ダーナ献金やユニセフ、各地で発生している災害への義援金などへの協力その他、福祉施設への車椅子の贈呈なども行なっている。



学校法人山口中央幼稚園

園児72名卒園

認定こども園萩幼稚園

園児47名卒園

本願寺山口別院・山口教区教務所の関係施設である両園にて卒園式が行われ、119名が卒園を迎えた。

両園では、「まことの保育」の理念を基に、

- ① 「いのち」を大切にする子ども
 - ② 思いやりの心を持つ子ども
 - ③ 感謝の心を持つ子ども
 - ④ たくましい心と身体を持つ子ども
 - ⑤ 豊かな心を持つ子ども
- の5つの目指す子ども姿を設け、日々、阿弥陀様のみ教えの中で「ほとけの子ども」を大切に教育・保育を実践している。



- 山口中央幼稚園 <http://yamachuyo.net/>
- 萩幼稚園 <http://www.hagiyo.ed.jp/index.html>

教区ニュース



山口教区伝道野球部(軟式野球)

部員募集のお知らせ

条件は「寺族」ということだけ！
年齢、経験は問いません！

毎年、京都にて開催される「全国寺族青年軟式野球大会」と、第4連区内持ち回りで開催される「中四国ブロック寺族青年軟式野球大会」に参加しています。本年は安芸教区引き受けにて6月に開催されます。皆様のご参加お待ちしております。

◆お問い合わせ先◆
山口教区教務所まで



本願寺山口別院 『永代経法要』

(教区全門徒物故者追悼法要)

期日 6月8日(土)・9日(日)・10日(月) 午前10時から・午後1時30分から

講師 足利孝之氏 (本願寺派布教使・兵庫教区安養寺)

※お斎^{とき}をご用意しております。有縁の方お誘い合わせ、お参り下さい。

組別参拝日

- 8日 奉仕組 須佐組
 - 岩国北組、柳井組、
 - 山口北組、華松組、
 - 宇部小野田組、
 - 美祢東組、美祢西組、
 - 阿武組、豊田組、
 - 豊浦西組
- 9日 奉仕組 小月組
 - 岩国組、美和組、
 - 玖珂西組、熊毛組、
 - 防府組、厚狭西、
 - 大津東組、邦西組、
 - 豊浦組、下関組
- 10日 奉仕組 熊毛中組
 - 大島組、熊南組、
 - 熊濃組、下松組、
 - 周南組、山口南組、
 - 宇部北組、萩組、
 - 大津西組、白滝組

※組割指定日以外の参拝も、各組事務所へその旨お届けください。

得度習礼を希望する皆様へ

宗務所(本願寺西山別院内研修道場)または各教区で実施しております得度習礼講習会について、山口教区では下記日時で実施いたします。

※得度習礼をご希望の方は、当講習会の受講が必須となります。

日 時 第1回：2019年5月11日(土)～12日(日) 第2回：2019年10月15日(火)～16日(水)
申込締切 開催日の15日前

詳細は山口教区教務所までお問い合わせください。また、西山別院開催の受講を希望される方は宗派僧侶養成部、他教区開催の受講を希望される方は各教区教務所までお問い合わせください。

本願寺山口別院テレホン法話 083-973-0111 担当者一覧

| 期日 | 氏名 | 期日 | 氏名 |
|-----------|-------|-----------|-------|
| 4月 1日～10日 | 長尾 智章 | 6月 1日～10日 | 石丸 涼道 |
| 11日～20日 | 工藤 顕樹 | 11日～20日 | 佐々木世雄 |
| 21日～30日 | 黒瀬 英世 | 21日～30日 | 中山 教昭 |
| 5月 1日～10日 | 波佐間正弘 | 7月 1日～10日 | 和 隆道 |
| 11日～20日 | 岡村 遵賢 | 11日～20日 | 寺田 弘信 |
| 21日～31日 | 原田 英真 | 21日～31日 | 厚見 崇 |

※上記の青年布教使による各3分の法話が聞けます。諸事情により、順番が変更される場合があります。

～結ぶ絆から、広がるご縁へ～

別院・教区行事

| | | |
|--------|--------------------------|---------|
| 3日(水) | 山口教区仏の子ども本願寺研修 | 本願寺 |
| 5日(金) | 別院常例法座 | 山口別院 |
| 5日(金) | 講師/中島昭念氏(美祿東組明厳寺) | |
| 10日(水) | 山口中央幼稚園入園式 | 山口中央幼稚園 |
| 17日(水) | 萩幼稚園入園式 | 萩幼稚園 |
| 17日(水) | 仏教婦人会総連盟総会 | 本願寺 |
| 18日(木) | 補任式並びにまことの保育研修会 | 山口別院 |
| 20日(土) | 講師/深澤素子氏(京都幼稚園主事) | |
| 5日(日) | 降誕会 | 山口別院 |
| 5日(日) | 講師/上原泰教氏(大津東組正福寺) | |
| 11日(土) | 得度習礼講習会 | 山口別院 |
| 12日(日) | 講師/賀陽 寛氏(山口教区勤式指導員) | |
| 14日(火) | 青年布教使総会・研修会 | 山口別院 |
| 27日(月) | 山口教区仏教婦人会連盟総会 | 山口別院 |
| 28日(火) | 講師/中川清昭氏(福岡教区願應寺) | |
| 29日(水) | 別院永代経法要習礼 | 山口別院 |
| 30日(木) | 山口・北豊交流布教大会 | 鎮西別院 |
| 5日(水) | 別院常例法座 | 山口別院 |
| 5日(水) | 講師/溪 宏道氏(周南組松巖寺) | |
| 8日(土) | 永代経法要 | 山口別院 |
| 8日(土) | 講師/足利孝之氏(兵庫教区安養寺) | |
| 10日(月) | 山口教区仏教壮年会連盟総会 | 山口別院 |
| 10日(月) | 講師/大原瑞雲氏(仏教壮年会連盟講師) | |
| 17日(月) | 山口教区少年連盟総会・指導者研修会 | 山口別院 |
| 17日(月) | 講師/塩見洋一氏(龍谷大学理工学部教授) | |
| 17日(月) | 中四国ブロック寺族青年軟式野球大会 | 安芸教区 |
| 18日(火) | 山口教区寺族婦人会連盟総会・坊守講座 | 山口別院 |
| 18日(火) | ピハール山口総会・講演会 | 山口別院 |
| 21日(金) | 講師/小池秀章氏(浄土真宗本願寺派輔教・布教使) | 山口別院 |

敬 弔

生前のご遺徳を偲び、
謹んで敬弔の意を表します
(平成30年12月〜平成31年2月)

美和組 防萬寺 住職
中村 昭光(86) 12月1日

宇部小野田組 教念寺 衆徒
松永 保則(90) 12月2日

萩組 西生寺 前住職
三上 淳信(91) 12月22日

萩組 光源寺 衆徒
三上 正文(73) 1月4日

岩国組 専徳寺 前々住職
弘中 聰明(102) 1月21日

大島組 龍泉寺 衆徒
林 隆徳(76) 1月24日

大津西組 山光寺 坊守
上田かほる(84) 2月8日

豊田組 大福寺 前住職
稗田 晃雄(87) 2月14日

お知らせ

投稿物を教区ニュースで紹介して参ります。ご投稿お待ちしております。

編集後記

お彼岸の中日にMLBの開幕戦で七年ぶりに日本に凱旋したイチロー選手が無安打のまま引退した。昨シーズン現役を離れたたブランドは、超一流選手であつても取り返す事はできなかった。如何にトップの状態を継続する事が難しいものなのか、実力社会の頂点を極めた後の衰退する姿で示してくれた。日米の野球界で長年にわたり安打製造機という名を轟かせた存在は日本人としてとても誇りに思う。その生き方の美学に沢山のことを学ばせていただいた。記録にも記憶にも残る日本のレジェンドプレイヤーお疲れ様ありがとう。

「もちろんもつとできたことあると思いますけど、結果を残すために自分なりに重ねてきたこと、人よりも頑張ったということとは全く言えないけど自分なりに頑張ってきたということははっきりと言えます」(イチロー談)

本願寺山口別院・山口教区教務所
〒七五四一〇〇三二 山口県山口市小郡花園町三番七号
TEL〇八三(九七三)四一一一 FAX〇八三(九七三)四六三二